

科目名	生活環境と人間
科目名(英訳)	Man and Living Environment
科目ナンバー	AA116C01
担当者 (非)は非常勤講師	三浦 太一
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	人数制限あり
担当者及び時間割	【春学期】 三浦 太一: 金5-6
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	全学共通教育科目の教養課題教育科目「社会リテラシー」に属する科目である。学部・専門分野にかかわらず、専門職業人／有識社会人として社会の諸問題を判断し解決するための、社会のしくみに関する基礎的知識・素養を身につける。この科目では、様々な地域において、その地域の自然的条件や社会的条件に応じた多様な生活環境が生み出されてきたことを、地図などの資料から適切に読み取り、そこで発生しうる諸問題を想定するなどして、多くの人々にとってより良い生活環境を考えていく。なお、履修にあたっては所属する学部学科の教育目的との関連についても確認することが望ましい。
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 クリティカル思考力

授業の主旨 (概要)	人間は自分が生活する社会からどのように影響を受け、また、逆に社会をどのように作り上げているのでしょうか？西洋文化の源流ともいわれる古代ギリシア人の社会の在り方から、この問題を考えていきます。紀元前八世紀から四世紀にかけてのギリシアでは、私たちが現在目にする政治形態、学問、文化の原型が次々と起こってきました。この特異な時代に成立した叙事詩、悲劇、哲学のテキストを検討し、人間と社会の関係を学修します。																																									
具体的 達成目標	1. 個人と社会の相互関係を考察するための方法論と知識を習得する。2. 古代ギリシアのテキストが投げかける個人と社会の問題、あるいは、緊張関係を学ぶことで、私たち自身の社会における問題を発見する能力を獲得する。																																									
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td><td>【内容】</td><td>第1週 はじめに: 紀元前八世紀から四世紀ギリシア世界を概観する</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: シラバスを読み、授業で扱うテーマを確認しておく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">2</td><td>【内容】</td><td>第2週 恥と名誉の社会: ホメロスの『イリアス』を読み、戦士社会の中で成立する規範を学ぶ。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">3</td><td>【内容】</td><td>第3週 穢れと罪: ソフォクレスの『オイディプス王』を読み、罪が社会の中でどのように認知されうかを考える。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">4</td><td>【内容】</td><td>第4週 哲学者と社会(1): 哲学者ソクラテスと社会との関わり方を学ぶ。ソクラテスの人物像と社会背景について解説する。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">5</td><td>【内容】</td><td>第5週 哲学者と社会(2): 「ソクラテス裁判」からソクラテスと市民社会の緊張関係を学ぶ。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">6</td><td>【内容】</td><td>第6週 哲学者と社会(3): プラトン著作『クリトン』から国法に対する哲学者の態度を学ぶ。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">7</td><td>【内容】</td><td>第7週 善い魂と善い国家(1): プラトンの国家論を学ぶ為に、彼の人物像と社会背景を解説する。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">8</td><td>【内容】</td><td>第8週 善い魂と善い国家(2): プラトン著作『国家』の中で述べられる「正義」について学ぶ。</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。</td></tr> </table>		1	【内容】	第1週 はじめに: 紀元前八世紀から四世紀ギリシア世界を概観する	【授業外学習】	事前: シラバスを読み、授業で扱うテーマを確認しておく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	2	【内容】	第2週 恥と名誉の社会: ホメロスの『イリアス』を読み、戦士社会の中で成立する規範を学ぶ。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	3	【内容】	第3週 穢れと罪: ソフォクレスの『オイディプス王』を読み、罪が社会の中でどのように認知されうかを考える。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	4	【内容】	第4週 哲学者と社会(1): 哲学者ソクラテスと社会との関わり方を学ぶ。ソクラテスの人物像と社会背景について解説する。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	5	【内容】	第5週 哲学者と社会(2): 「ソクラテス裁判」からソクラテスと市民社会の緊張関係を学ぶ。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	6	【内容】	第6週 哲学者と社会(3): プラトン著作『クリトン』から国法に対する哲学者の態度を学ぶ。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	7	【内容】	第7週 善い魂と善い国家(1): プラトンの国家論を学ぶ為に、彼の人物像と社会背景を解説する。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。	8	【内容】	第8週 善い魂と善い国家(2): プラトン著作『国家』の中で述べられる「正義」について学ぶ。	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。
1	【内容】	第1週 はじめに: 紀元前八世紀から四世紀ギリシア世界を概観する																																								
	【授業外学習】	事前: シラバスを読み、授業で扱うテーマを確認しておく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
2	【内容】	第2週 恥と名誉の社会: ホメロスの『イリアス』を読み、戦士社会の中で成立する規範を学ぶ。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
3	【内容】	第3週 穢れと罪: ソフォクレスの『オイディプス王』を読み、罪が社会の中でどのように認知されうかを考える。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
4	【内容】	第4週 哲学者と社会(1): 哲学者ソクラテスと社会との関わり方を学ぶ。ソクラテスの人物像と社会背景について解説する。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
5	【内容】	第5週 哲学者と社会(2): 「ソクラテス裁判」からソクラテスと市民社会の緊張関係を学ぶ。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
6	【内容】	第6週 哲学者と社会(3): プラトン著作『クリトン』から国法に対する哲学者の態度を学ぶ。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
7	【内容】	第7週 善い魂と善い国家(1): プラトンの国家論を学ぶ為に、彼の人物像と社会背景を解説する。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								
8	【内容】	第8週 善い魂と善い国家(2): プラトン著作『国家』の中で述べられる「正義」について学ぶ。																																								
	【授業外学習】	事前: コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。 事後: 課題質問への回答・提出を行う。																																								

	9	【内容】	第9週 善い魂と善い国家(3)『国家』の中で述べられる教育論について学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	10	【内容】	第10週 善い魂と善い国家(4):『国家』の中で述べられる五つの政治形態の成り立ちを学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	11	【内容】	第11週 環境と人間形成(1)+レポートの書き方 アリストテレスの倫理学著作を学ぶ為に、彼の人物像と背景を解説する。レポート作成の実践的な方法を説明する。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	12	【内容】	第12週 環境と人間形成(2)アリストテレス著作で述べられる習慣と教育について学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	13	【内容】	第13週 環境と人間形成(3) アリストテレスの幸福論における「友人」の役割を学ぶ。			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
	14	【内容】	第14回 復習:これまでの学修内容の復習			
		【授業外学習】	事前:コースパワーにアップロードする資料を読んでおく。事後:課題質問への回答・提出を行う。			
15	【内容】	第15回 総括と論述テスト				
	【授業外学習】	事前:論述テストの記述内容を準備しておく。 事後:論述テストで自分で記述した内容を思い返し、簡単なメモをとっておく。				
授業方法	スライドを用いて講義を行う。時間の最後にコースパワー等を用いて課題質問への回答を記入してもらう。提出物には講義やコースパワー等を通じてコメントを提示する。					
成績の評価方法	最終週に行う論述テストを70パーセント、毎週の課題提出を30パーセントの割合で評価する。テストの際には、ノートや資料の持ち込みは不可。またPCやスマートフォン、電子辞書などの情報機器はテスト中は使用不可。以下に示すような受講上の問題が発見された場合、成績評価の対象としないものとする。著しく欠席が多い、課題提出数が非常に少ない、私語などによって授業または他の参加者への妨害がある、授業中に授業とは関係のない課題作成やスマートフォン、PCの使用がなされている、授業中に正当な理由なくイヤホンを使用している、出席登録に関連した不正行為がなされている、論述テストの際にカンニング等の不正行為がある、等。					
成績の評価基準	論述テストでは、授業で扱ったテーマについて自分の言葉で要約し、かつ、自分自身の考察と比較することが求められる。他者の言説に対して、丸写しや剽窃を行ったことが明らかな場合は、評価対象としない。論述中にテキストや二次文献の引用を行う場合は出典に言及すること。60点以上が合格となる。内容の把握が正確で、自分の見解も明確に示しているレポートは70点以上の評価となる。さらに、見解にオリジナリティがある場合は80点以上、内容把握、見解の質、さらに文章表現の全てが優れている場合は90点以上となる。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『古代ギリシアの歴史 ポリスの興隆と衰退』	伊藤貞夫	講談社		978-4061596658
	2.	『図説 古代ギリシアの暮らし』	高島純夫 齋藤貴弘 竹内一博	河出書房新社		978-4309762753
	3.	『西洋哲学の起源』	荻野弘之 桑原直己	放送大学教育振興会		978-4595316036
	4.	『哲学の饗宴:ソクラテス・プラトン・アリストテレス』	荻野弘之	日本放送出版協会		978-4140841587